

事項一三 勞農露國ノ内情及渉外關係一件

二六八 一月六日 在仏国佐藤臨理代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

莫斯科中央執政委員会歐洲諸國ト行フベキ交
渉ノ基礎条件ヲ定ムル委員会ヲ組織ノ件

第一〇号 (一月八日接受)

「リガ」発新聞電報

莫斯科中央執政委員会ハ歐洲諸國ト行フベキ交渉ノ基礎条
件ヲ定ムル為「チチェリン」ヲ長トスル委員会ヲ組織シ
「イオッフエ」「ガノツキー」「ラメック」「チリアプニ
コッフ」「クレスチンスキー」等ヲ委員ニ任命セリ前記交
渉ノ基礎条件ハ政治問題ヲ含マズ専ラ左ノ諸点ニ限定ス

- a、戦前債務
- b、戦時中ノ債務
- c、外国ノ軍事干渉ニ依リ露西亞ノ受ケタル損害ノ補償
- d、「デニキン」「ウランゲル」「ユデニツチ」諸軍ノ撤
退ニ際シ露西亞ノ港湾ヨリ持チ去レル軍艦、商船ヲ露西

- 亜ニ返還スルコト
- e、極東問題ノ解決
- f、露西亞經濟復興ニ関スル國際的協力案
- g、商工業及財政ニ関スル協定
- h、領事ニ関スル協定
- i、国籍問題
- j、為替問題

二六九 一月十五日

在チェッコスロヴァキア國長岡公使
ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

チェッコスロヴァキアノ勞農露國トノ關係ノ
近況ニ付報告ノ件

第六号

(一月十六日接受)

「チェッコ」ト勞農政府トノ關係ニ付政府筋ヨリ聞込ミタ
ル処其他ヲ綜合スルニ

一、「チェッコ」ハ數個月以前ヨリ英独諸國ト同ジク莫斯
科政府トノ間ニ通商代表者ヲ交換シ物々交換ニ依リ現ニ相

當ノ取引ヲ行ヒツツアリト雖モ(農具、織物類ノ売付價格
既ニ七千二百万「クローネ」ニ上レリト云フ)未ダ右諸國
ノ如キハ正式ノ通商協定ヲ締結スルニ至ラズ蓋シ「チェッ
コ」側ニ於テハ戦前「ウクライナ」地方ニ在住セル七八万
ノ「チェッコ」人ニ係ル財産保護ノ問題アリ又露國側ニ於
テハ「チェッコ」ト波蘭トノ接近ヲ以テ自國ニ對スルモノ
ナリトノ觀念ヲ懷ク等各種ノ故障ニ妨ゲラレ今日迄商議纏
ルニ至ラズ

二、「チェッコ」ノ對露方針ハ一方ニ於テ内政不干渉主義
ヲ嚴守スルト同時ニ露國ノ恢復ハ外部ヨリ大規模ノ經濟的
干渉ヲ加フルニ非ザレバ之ヲ見ルコト能ハズトナスニ在リ
即チ露國內部ノ組織、活動ニ對シテハ絶対ニ容喙セザルハ
勿論「チェッコ」ニ徂徠スル露國政客ノ行動ニ對シテモ一党
一派ニ偏セズ苟モ「チェッコ」ノ治安ヲ害セズ又其ノ領土
ヲ利用セザル限リ極メテ自由ナル態度ヲ取り毫モ之ニ干渉
スルコトヲセズ(日曜ニ波蘭ヨリ追放セラレタル「サビン
コフ」モ自由ニ「チェッコ」ヲ通過セルモノニシテ當國ヨ
リハ決シテ追放セラレタルモノニ非ズ將又歐洲各地ニ散在
スル社会革命党ノ一派目下当地ニ会集中ニシテ其會議事項

ハ国外避難民ノ相互ノ連絡及救済問題等ナル趣ナルガ政府
ハ敢テ干渉セズ又重要視セザル態度ナリ)之ト同時ニ「チ
ェッコ」モ英独ノ聲ニ倣ヒ前記ノ如ク露國ニ經濟的發展ヲ
遂グルノ方針ヲ樹テ頻リニ各般ノ施設ヲ怠ラズト雖モ右ノ
發展ハ露國ノ内部開放セラレ二三ノ邦國ニ止マラズ列國ノ
等シク活動スルニ依リ始メテ之ヲ期シ得ベク露國再興ノ業
又始メテ其ノ緒ニ就クベキモノトナシ當國首相ハ客臘歲末
ノ辭トシテ右ノ持論ヲ新聞紙上ニ公表セルガ「カンヌ」最
高會議諸種ノ決議ハ畢竟此趣旨ノ實現ニ外ナラサルニ付當
國政府筋ニテハ頗ル得意ノ色有リ其ノ機関紙ハ右ノ決議ヲ
以テ當國首相ノ意見ニ「インプレス」サレタルモノナリ

(脱)ヲ宣伝シツツアル程ナリ

三、目下「チェッコ」ニ在ル露國人ハ其數二万ニ達シ而シ
テ彼等ノ政治的行動ニ對スル露國政府ノ態度左ノ如シ

(一)小兒傷病者及婦人ニシテ勞働ニ堪ヘザル者ハ之ヲ赤十字
社ニ委託シ(二)勞働ニ堪ユル者ハ内國勞働者ノ地位ヲ害セザ
ル限リ就職ノ途ヲ講ジ既ニ其ノ大部分ハ農業ニ従事シ居レ
リ(三)一千余名ノ学生ニ對シテハ特ニ学校ヲ設ケテ之ヲ收容
セルモノ尠カラス目下「ブラーグ」ニ露國自由大學設立ノ

動議進行中ナリ(四)五十余名ノ學者、技術者ハ夫々大學研究所ニ就職セシムルカ若クハ露國學生ノ指導ニ当ラシメツツアリ將又露國內地飢饉救済民ニ対シテハ公衆ノ醵金二百萬政府支出一千万「クローネ」ヲ以テ被服食料等ヲ供給中ナリト云フ

二七〇 二月八日 在波蘭國川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

勞農露國公使館書記官ガ宮川ニ対シテ為シタル

露國要人ノ批評セノア會議各國ノ對露國態度

等二閣スル談話報告ノ件

第一七号 (二月十日接受)

勞農政府公使館書記官 Kantorovitch ハ二月六日宮川ヲ訪問シ過日帰任セル Karahan ガ「ゼノア」會議中不在トナルベキ「チチェリン」氏ヲ代理スル為ニ三日中再ビ莫斯科ニ赴クニ付其旨本官ニ伝達方依頼シタル後余談トシテ大要左ノ如キ談話ヲ為セル由ナリ
最近新聞紙上ニ伝ヘラルル「レニン」ノ病氣ハ全ク事實ニシテ之レ同人ガ五年間断断ナク國事ニ奔走セル為健康ヲ害シタル次第ニシテ目下同人ハ莫斯科附近ノ別荘ニ静養、内

外政務ニ関スル報告ハ二三日置キニ聴取スルコトトナリ居レリ「レニン」ハ過激派領袖ニテ一頭地ヲ拔ケル人物ナルガ同人ニ代ルベキ人物ハ同人程円転滑脱ノ域ニ達セザルモ英邁果斷ナル「トロツキー」ナルベシ「クラシン」ハ露國經濟事情ニ精通スルモ世間ニ噂サルルガ如キ實際政治家ニ非ズ「チチェリン」モ亦外交上ノ画策ニ妙ヲ得居ルモ之ヲ実行スル丈ノ氣力無シ「プハリーリン」ハ余リニ議論ニ走り過ギ實際ニ適セズ唯「スタリン」ハ相当ノ人物ナリ世上過激派領袖間互ニ排擠軋轢ヲ事トスル由ニ伝ヘラルルモ之レ事實ニ非ズ尤モ昨年勞働組合問題ニ関シ「レニン」「トロツキー」「プハリーリン」等ノ間ニ意見ノ相違アリタルモ「レニン」ハ二十五票ノ内十四票「トロツキー」ハ七票「プハリーリン」ハ四票ノ賛成ヲ得結局「レニン」ノ勝トナレリ

「レニン」ハ健康勝レザルト国内飢饉問題ノ重大ナル為「ゼノア」ニ赴カザルベク「チチェリン」ハ同人ニ代リ「クラシン」(在英代表者)、「リトヴィノフ」(外務次官)、「ヨッフエ」「ウォロフスキー」(在伊代表者)、「ラロフスキー」(「ウクライナ」総理兼外相)、「ナリ

マノフ」(「アゼルバイジャン」)「ムジウワニ」(ジョルジア)総理)、「ベクサジザイン」(「アルメニア」)外國貿易大臣)、「ホジャエフ」(「ボハラ」ノ総理)、「ヤンソン」(極東共和国外相)、「シリヤブニコフ」(勞働組合代表者)、「サプロウノフ」(同上)、「ルドズタク」(同上)ヲ從ヘテ會議ニ参列スルコトトナレリ

「ゼノア」會議ハ露國ノ國際的地位ニ一新生面ヲ開クモノナルヲ以テ露國ハ極力自己ノ立場ヲ主張スベシ

「カラハン」ガ波蘭トノ通商談判委員ニ任命セラレザリシハ「チチェリン」ノ不在中代理ノ為帰國ノ要アルガ為ナリ

列國間ニハ勞農政府ヲ承認セントスル英國、伊國ト之ガ承認ニ反対ナル仏國、米國、白耳義トノ二派アリ英國ハ二百万ニ達スル無職業者ノ処分ニ窮シ切リニ露國ヲ世界經濟協調ノ中ニ引入レントシ居ルモ同國ノ政策ハ義理モ人情モ無キ勘定一方ノ政策ナレバ大イニ警戒ヲ要ス露國トシテハ將來仏國及独逸ト親ミ英國ニ当ルガ利益ナリ

米國ハ英國程ニ露國トノ通商ヲ必要トセザル理由アリ經濟上ノ情報機関タル飢饉救済委員會ヲシテ列國ノ露國ニ於ケル活動振リヲ監視セシムルヲ以テ満足シ居レリ

勞農政府ハ帝政時代ノ外交官ヲ招キ其ノ知識經驗ヲ利用セシコトヲ考ヘザルニ非ザルモ「サゾノフ」始メ未ダ其処迄觀念セザルモノノ如シ
在歐各大使及瑞典公使ヘ郵送セリ

二七一 三月十一日 在德國日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

露國政府承認問題露國政府トノ交渉問題等二

閣シ「デバーノン」英大使トノ意見交換二付

報告ノ件

第五九号 (三月十三日接受)

去ル八日本使對露政策其他ニ関シ英國大使「デバーノン」ト会谈シタルガ(一)英大使ハ先ヅ露國政府承認ニ関スル帝國政府ノ意嚮ヲ問ヒタルニ付本使ハ政府ノ意嚮如何ハ確知シ居ラザルモ私見ニ依レバ露國政府ニ於テ「カンヌ」拳示条件ヲ承認シタル以上是ト交渉ヲ開始スルコト敢テ差支無キモ直チニ是ヲ以テ正式承認ノ基礎ト為シ得ベキニ非ズ蓋シ現在露政府ヲ組織スル人物ノ過去ニ於ケル政策行動ニ徴スルニ其所約必ズシモ信ズベカラザレバナリ故ニ愈々ノ承認ハ露政府及是ヲ組織スル人物ガ十分信頼スルニ足ルベキコ

トヲ実証シタル後初メテ考慮スルヲ適當ト信ズル旨答ヘタルニ英大使ハ至極同意見ナリト述ベ次デ「ゼノア」會議ニ於テ露政府ト交渉スルハ時機尚早シトノ論者少ナカラザル処實見如何ト尋ネタルニ付本使ハ時機早晚ノ論ハ其是非遽ニ判断シ難キモ世界經濟上何時迄モ露國ヲ除外シ得ザルコト及列國自ラ誘引セザル限リ露國ガ再ビ列國ノ伍伴ニ列シ得ベキコト殆ド想像シ難キ事情ニ顧ミ今日ハ勿論假令一二年前ニ交渉ヲ開始シタリトスルモ敢テ早キニ過ギタリト言フヲ得ザルベシ要ハ列國トモ一致ノ政策ニ出デ露政府ヲシテ其所約ヲ履行スルノ止ムナキニ至ラシムベキ形勢ヲ維持スルニ在ルベシト答ヘタルニ是又全然賛同ノ意ヲ示セリ(一)最後ニ英大使ハ獨貨最近ノ暴落ニ関シ上麻克紙幣ヲ増発スルコトヲ断然禁止スベシト切論シ其実行不可能ナルベシトノ本使ノ論議ニ対シ独逸政府ニ賠償支払ヲ猶予スレバ可ナリト答ヘ尚「ロイド、ジョージ」ノ對土政策ハ誤レルモ對独方針ハ正鵠ヲ得タリト述ベタリ

在欧米各大使へ郵報セリ

勞農政府外相「チチェリン」ハ「ゼノア」會議後失脚シテ辭職スベク其後任トシテ「リトウィーノフ」之ニ代ル可シトノ噂伝ヘラレタル処牒者ガ確カナル筋ヨリ聞込ミタリトテ報告セル所ニ依レバ右ハ全ク虚報ニシテ同人ハ其後引続キ伯林ニ在リテ広ク海外避難ノ露人反過激領袖ト極秘ニ交渉ヲ繼續シ居ルハ確實ナルモ其ノ内容不明ナリト云ヘリ然レドモ勞農政府ハ眼ノ上ノ瘤タル海外反過激派ヲ手懐クルノ必要アリ而シ窮余ノ極ニアル避難露人中活路ヲ得ンガ為其ノ交渉ニ応ズルモノ出ヅベキハ想像スルニ難カラズ就テハ若シ該交渉ガ勞農政府側ニ有利ニ進捗スルトセバ条件ノ如何ニ拘ラズ露國問題ハ更ニ一進展ヲ来スベシト考ヘラル在独大使波蘭へ暗号ノ儘郵送セリ

註 佐々木ハ在レヴァール領事佐々木静吾

二七四 九月十四日 在ハルビン山内総領事ヨリ 内田外務大臣宛

勞農露國承認運動ニ関シ外務人民委員代理ヨ

リ在外代表者へノ内訓訳報ノ件

公第四六〇号

(九月二十日接受)

大正十一年九月十四日

一三 勞農露國ノ内情及涉外關係一件 二七四

二七二 六月二十二日

在君府桑木陸軍少佐ヨリ 参謀次長宛(電報)

露國內ノ軍事情勢ニ関シ報告ノ件

君府第九十三号

(六月二十四日外務省写接受)

極東露軍ノ積極方針

露独聯盟ノ結果顧問トシテ独逸ヨリ露國ニ派遣サレシ「パウエル」將軍ハ目下露國陸軍ハ一切積極の企圖ヲ止メ内部ノ改善ニ尽スヘシト声明セリ

「ヘーグ」會議ニハ何等望ヲ置キアラス又極東露軍司令官「ブリュッヘル」ハ「モスコ」ニ至リ極東へ兵力増派ヲ請ヒシモ拒絶セラレ

過激派無線電信ハ日本軍ノ交代ヲ以テ増兵トナシ西伯利ノ日本総兵力ヲ十萬ト算ス

二七三 七月二十五日

在瑞典國烟公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

勞農露國外務人民委員チチェリン伯林ニ在リ

テ広ク海外避難ノ露人反過激派領袖懷柔ニ努

カシ居ル旨ノ情報報告ノ件

第二〇六号

(七月二十六日接受)

佐々木ヨリ左ノ通り

在哈爾濱

総領事 山内 四郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

当地発刊「ルスキー、ゴロロス」ノ「ソウエート」露國外務「コミッサル」代理「カラハン」在外代表者ニ配布セル内訓トシテ報スル所ニ拠レハ「ソウエート」露國ノ現状ハ一刻モ速ニ列國ノ承認ヲ必要トスルニ鑑ミ外務「コミッサル」ハ全露中央執行委員会ノ決議ニ基キ左ノ通訓令ス

一、貴館員ノ一部ヲ分割シ之ニ駐割國ノ労働階級間ニ出来得ル限リ広ク宣伝ヲナスコトヲ委任スルコト

二、各出張員万国共産党秘密新聞記者全露中央執行委員会外國部宣伝員ハ共産黨員並ニ共産党同情者間殊ニ青年団職業組合間ニ遲滞ナク宣伝ヲ開始スヘシ國際資本主義並有産階級ノ圧迫ニ対スル反対運動ニ藉口シテ勞農露國聯邦承認ヲ眼目トスル示威演說会同盟罷工示威行列ヲ計画スベシ

三、「ソウエート」露國聯邦承認宣伝週ヲ定メ全共産黨員ヲ動員シテ宣伝委員会ノ指揮ノ下ニ宣伝ニ従事セシムルコト尚世界ノ大勢ハ有産階級並ニ帝國主義政府ヲシテ露

國ヲ承認セシムルコトヲ要求シツツアル旨ヲ勞働者間ニ
宣布スルコト若シ其地ニ広汎ナル範圍ニ亘リ宣伝機關ア
ルニ於テハ其全資産ヲ利用シテ宣伝事業ヲ擴張スベシ
四、承認ノ宣伝週実行ニ必要ナル費用ハ万国共產党本部ヨ
リ支出スルニ付予定事業執行ニ必要ナル金額ハ至急申出
ツヘシ

五、(中略)無産主義ノ露國ハ同志ノ努力ト資金ヲ要求シ
居レリ「ソウエート」露國ハ必ス承認セラレサルヘカラ
ス現下ノ政情正ニ之ヲ要望シ居レリ云々
七月二日莫斯科ニ於テ

右御参考迄及報告候 敬具
外務委員代理 カラハン

二七五 十月二日 在波蘭國川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

勞農露國外務人民委員チチェリンノワルソ

訪問二関シ報告ノ件

第一一三号

(十月七日接受)

「ゼノア」會議以來久シク独逸ニ滞在中ナリシ勞農外務大
臣「チチェリン」ハ莫斯科ヘノ帰途九月二十八日当地ニ立

寄り大統領以下主要政治家ヲ訪問シ十月二日ニハ外務大臣
ヲ主賓トセル大宴会ヲ催シ本三日当地出發愈々莫斯科ニ帰
還ノ筈ナルガ右宴会ニ列席セル外務省員ヨリ確聞スル所ニ
依レバ「チチェリン」ハ爾後其代理者タル「カラハン」ヨ
リ事務ヲ引継ギ外務大臣トシテ更ニ活動スベク他方「カラ
ハン」ハ其最得意トスル近東問題ニ関聯シ「ケマル、パン
ヤ」ノ下ニ勞農代表タルベシトノ事ナリ
尚「チチェリン」ガ当國政治家ヲ訪問中主ナル話題ハ露波
善隣關係ノ維持ヲ主眼トシ軍縮問題通商條約締結ニ関スル
打合等ナリシト云フ

二七六 十月二十日 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

英米仏等方裏面ニ於テ勞農露國ト連絡ヲ計リ

利権獲得旧財産回復等ヲ画策ニ付報告ノ件

第六一六号

(十月二十二日接受)

露國ニ対シテハ主要各國從來表裏ニ様ノ態度ヲ持シ表面政
府トシテハ「ゼノア」及海牙ニ於ケルガ如キ態度ヲ執ルト
共ニ裏面ニ於テハ種々ナル方面ヨリ露國トノ連絡ヲ計リ利
権ノ獲得財産ノ回復等ニ就キ画策シ居ルノ内情アルヤニテ

モ帝國側ニ於テ特ニ注意ヲ払フノ必要アリト思考ス

二七七 十一月二十三日 在獨國日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

勞農露國ハ近ク連邦組織ヲ廢止ストノ情報ニ

付報告ノ件

第二九五号

(十一月二十四日接受)

情報ガ当地露國大使館員ヨリ聞キ込ミタル所ニ依レバ勞農
政府及全露執行委員會ハ露國ニ於ケル聯邦組織ヲ廢シテ単
一國家ト為スコトヲ決議シタル由本件ハ此ノ夏ヨリ莫斯科
政府ノ計画トシテ往々伝ヘラレタル所ニシテ其理由トスル
所ハ本來露國聯邦制度ハ莫斯科政府ノ成立當時其存続ノ為
一ハ各民族ノ自尊立心ヲ尊重シ一ハ強大國トノ直接々壞
ヲ避クル等當時ノ情況ニ余義ナクセラレタルモノナルガ同
政府ノ基礎鞏固トナリタル今日右ハ存続ノ理由ニ遠ク一方
露國目下ノ急務トスル經濟ノ復興及外交ノ刷新上聯邦制度
ガ莫斯科政府及他ノ各聯邦諸國ニ取り障礙タルハ最近ノ經
験ニ徴シ明ラカナリトナスニアリ尚最近齊多其他ノ聯邦諸
國ニ於テモ之ニ併合スルノ計画アリ特ニ「ウクライナ」ノ
「ラコフスキー」ハ右計画ノ最モ有力ナル支持者ナリ唯高

是等會議地ニ於テ新聞記者等ヨリ裏面ノ立廻ヲ為サザルハ
日本ノミナリトノ言ヲ耳ニシタルコトモアル次第ナル処海
牙會議失敗以來右各國裏面ヨリノ活動ハ益顯著トナリ英國
ニ於テハ「アークハート、クラッシン」取極ノ締結(右ハ
往電第五八六号ノ通一旦露國側ニテ承認拒絶ニ決定シタル
ガ伯林通信トシテ十九日「モーニングポスト」ノ報ズル所
ニ拠レバ最近「クラッシン」ノ辞任申出等ニ顧ミ露國側ニ
於テ右取極ニ就キ再考ヲ加フルコトナレリト云フ)「ロ
ーヤルダッチ」等ノ石油利権獲得運動アリ米國側ニ於テハ
「シンクレア」会社「スタンダード」会社 International
al Barnsdal Corporation(華府通信トシテ十九日)「タイ
ムズ」ノ報ズル所ニ拠レバ本会社ハ海牙會議後莫斯科政府
ヨリ「コーカサス」地方ニ於テ五百「エーカー」ニ亘ル旧
露帝所領ノ石油利権ヲ許可セラレ目下國務省ノ賛認ヲ要求
中ナリト伝ヘラル)等ノ石油利権其他ノ利権獲得運動アリ
仏國側亦最近從來ノ態度ヲ改メ是等在仏及在獨大使ヨリ已
ニ電報ノ通 Herriot ヲ使用シテ利権獲得乃至ハ旧財産回
復等ノ問題等ニ就キ露國トノ間ニ諒解ヲ進メント試ミツツ
アリ是等ノ形勢ハ閣下ニ於テ疾ク御承知ノ次第トハ存ズル

架索三國ノ之ニ対スル冷淡ハ從來其莫斯科政府ニ対スルノ態度ニ鑑ミ首肯セラルル所ナルガ右三國政府モ常ニ莫斯科政府ノ威力ニ屈從シ今夏貨幣制度ノ統一ヲ実行シタル等ノ事情モアリ他ノ聯邦諸國ニシテ本件計畫ニ賛同スルニ於テハ敢テ飽ク迄之ニ反對ノ態度ニ出デザルベシ何レ本件ノ確定ハ來ル十二月二十日ニ開カルベキ全露大會ノ經過ニ俟タザルベカラザルモ今日ノ情勢ヲ以テセバ其實現遠カラザルガ如シ

英、仏、瑞典、波蘭へ暗送セリ

二七八 十一月二十四日 在波蘭國川上公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

勞農露國ノ連合共和国制ノ改造運動ノ最近ノ

動向ニ関シ報告ノ件

第一五四号 (十一月二十六日接受)

最近露國「ソウエト」連合共和国ノ改造運動ニ就キ情報類々トシテ伝ヘラル右「ソウエト」連合ノ改造ノ氣運ガ果シテ如何ナル理由ニ起因スルモノナリヤ又其計畫ガ如何ナル程度迄實現セラレ得ベキヤハ目下興味アル問題ノ一ナリ抑一九一八年露國憲法ニ依リ露國共和国ハ各民族「ソウエ

ト」ノ自由ナル連合ノ上ニ成ルトアリ右ハ當時中央ノ權力未ダ確立セザリシガ故ニ一般ノ狀態ニ乘ジ幾多異民族ノ自決主義ニ迎合シテ之ヲ其辺防策ニ利用セントシタルニ依ル勞農政府ノ対印度政策又曩ニ「ロイドジョージ」政府ガ波斯ヲ通ジテ高架索ヲ窺ハントセル際ノ対高架索政策更ニ最近ニ於ケル對極東共和国政策等ハ概テ皆此類ナリ然ルニ其後中央權力ノ基礎確立スルニ從ヒ中央集權主義ノ抬頭シ來レルハ自然ノ趨勢ニシテ其ハ「ゼノア」海牙ノ兩會議以來益々顯著トナレリ又最近各國トノ通商條約締結及所謂「ラパロ」條約ノ適用範圍擴張問題等ニ件フ煩瑣ナル手續ニ依リ實際上全露統一ノ必要ヲ感ジツツアルハ事實ナルベシト雖モ此形勢ヲシテ最モ促進セシメタルモノハ昨今ニ於ケル極東共和国合併運動之ナリ十一月十四日「イズウエスチヤ」ハ全露統一問題ニ就キ各「ソウエト」政府ニ対スル質問の記事ヲ掲載セルガ之ニ対スル一般ノ輿論ハ概シテ賛成的ニシテ「ウクライナ」及白露ニ於テ最モ然ルガ如シ右ニ関スル諸般ノ情報ヲ綜合スルニ該計畫ハ目下莫斯科中央部ニ於テ審議中ニ屬シ其大綱ハ莫斯科ニ全露「ソウエト」連合中央執行委員會ヲ設置シ其許ニ軍事外交財政交通及外國

二七九 十一月二十七日

在瑞典國畑公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

勞農露國ノ米國資本誘入ノ運動ニ関シ報告ノ

件

第二九二号

(十一月二十八日接受)

露國政府ハ自國ノ財界復興ノ為有ラユル手段ヲ講ジ外資ノ誘入ヲ図リ來リシモ今日迄何等見ルベキ結果ヲ挙ゲ得ザルノミナラズ今後「ゼノア」海牙ニ於ケルガ如キ會議ノ開催ヲ予見シ得ザルヲ以テ米國資本誘入ノ大運動ヲ開始スルニ決シ其端緒トシテ過般露國国立銀行顧問トシテ雇ヒ入レタル「カッセル」博士(瑞典ノ經濟學者)ヲ伯林ニ派シ同地ヲ根拠トシテ其運動ニ著手セシメシ由ナリ因ニ輓近伝ヘラルル米國元老院議員「マクコルミク」露國訪問モ右運動ノ結果ナルベシト

在独大使へ暗送セリ

在歐各大使、瑞典、「チェッコ」へ郵報済